

平成 28 年度 第 4 回静岡県作業療法士会 理事会議事録（平成 28 年 10 月 15 日）

出席者：秋山，稲葉，岩井，大石，大庭，岡庭，勝又，小林，齋藤，林（理事：10 名），
小笠原，遠藤（監事：2 名），[高岡，小坂，成田，武内（書記）]

場 所：静岡県作業療法士会事務局（静岡市） 13：00～17：30

※【平成 28 年度 第 4 回理事会資料】＜別紙資料＞に順じて進行

【報告・審議事項】

1. 事務局会議，3 役会での報告事項（岩井事務長）

1) 将来のビジョン策定に向けての取り組み方法

- ・OT 協会は現在 5 ヶ年計画を策定。県士会としては 2025 年にどうなっているかというビジョンを立てて行う。
 - 大庭理事主導で WG によるものを立ち上げる（来年度中に見えるものを作る）
2025 年までに 4 年計画×2 で検討。
- ・地域医療構想（病床数の変化）が地域包括ケアと並行して進められている。
 - 病床数↓に伴い地域でのニーズが増える。地域に良い人材を派遣できる仕組み作りをするための取り組みを実施
- ・精神科や特別支援での地域での活躍（他職種とどう関わるか）
- ・子育て支援について家庭で頑張っている女性 OT をどう活かすか（パートで地域に…等）
- ・職能としてのビジョンだけでなく県士会としてのビジョンも検討

2) 平成 28 年度補正予算成立に向けて

- ・11 月 15 日の補正予算申請締め切り後予算審議会を別段で設ける。
- ・予算案について：各部局が提出しやすいようなものを検討

3) 平成 29 年度当初予算成立に向けて

- ・会計処理能力：会計担当の雇用を検討。小田巻氏に打診。
予算については補正可否に関わらず進めていきたい。

4) 来年度役員選挙に向けた体制づくり（15 名体制へ）

- ・1 名増は伊井氏（専門：発達）まずは事務局（総務）として理事会に出席。

5) 組織率アップに向けた取り組み：会費納入について年度末に電話にて催促。

6) 収益アップに向けた取り組み：賛助会員について検討

7) 規約等の作成と規約集の整備：規約検討委員会に依頼（梶原副会長，勝又理事，伊井氏，他）

8) 情報管理の事務局への一元化と保存の基準作り：規約検討委員会と連携

9) 認知症 OT 推進委員の推薦

小笠原紀子氏，山崎大輔氏で決定。県内での研修会については，今年度で開催義務の可能性あり。学術部と連動し実施。

10) 特別支援教育推進担当者の推薦：伊井氏

11) 役員バッチの作成：理事・監事・顧問・事務局員の分を検討。

2. 静岡県士会学会 進捗

○第 29 回（稲葉理事，成田氏）

- ・25 万円程の黒字で会計終えた。広告賛助の大幅な増収。

○第 30 回（齋藤理事）

- ・各局で月 1 回，他局長（+必要人員）集め会議を開催中。
- ・HP 開設。今後県士会 HP とリンクしていく。
- ・演題募集開始（現在 2 演題）。目標は 66 演題。
- ・公開講座：がん患者でもあり，県立がんセンターのバックアップあり。公開講座のみがんセンター共催として良いか ⇒ 良い

○第 31 回（中部地区理事）

- ・学会長について検討中

3. OT 協会設立 50 周年記念イベント進捗（大石理事）

1) 進捗状況：OT かるたは 50 音中 43 音の作品確保

2) 今後の活用について：各部局にお手伝いいただき活用方法について検討

- ・著作権等の扱いはどうするか。収益を出して良いのか，「欲しい」が増えた時の対応は，増刷やバージョンアップ等視野を広げて検討すべき。メディアに発信する場合は慎重に進めるべき。

4. 静岡県作業療法士連盟設立の進捗（熊谷顧問、稲葉理事）

1) 進捗状況

- ・設立に向けて準備している。設立はすぐに可能だが、ビジョンや設立後の組織図、会員把握、会費の設定と徴収方法など検討が必要。また、会員への理解も得る必要あり。
- ・国政・県政・市政に OT のやりたいことが反映されるような議員を支援していきたい。
- ・県士会 HP と会報誌（11月号同封）にて連盟の説明を掲載予定。

2) 県の健康福祉部との意見交換会

- ・開催日：10月28日（金）
 - ・参加者：山田県議会議員、内田 PT 連盟会長、和泉県士会長、他
- ⇒ 県との意見交換のため連盟からでなく、県士会からの出席が良い。

3) 自民党政権パーティー券購入依頼

- ・熊谷連盟会長へ報告

5. 第3回47委員会報告（秋山会長）

1) モデル事業 WG：平成29年度モデル事業（案）（全8事業）

2) 認知症 WG：認知症推進委員が各士会に配属。11月に委員が集まる。 それを各士会に持ち帰り研修会の講師として行う。

3) 組織強化 WG：組織率7割。協会員＝士会員の構図は各士会バラバラ

当士会の取り組み（組織率、卒後の入会等）について報告依頼あり

6. 京都府士会特別支援教育 OT チーム 10 周年記念講演会への参加（平成29年1月22日開催）

- ・鴨下氏より静岡県士会から会員出席の検討依頼あり

目的：今後、静岡県士会が特別支援教育に対応していくための参考としたい

参加推薦者：伊井玄（静岡医療福祉センター）

⇒ 一人で資料を作り今後この分野をまとめていくのは難しいのでは。しっかりと県士会でバックアップすべき（小笠原）

⇒ 当士会この分野での取り組みが進んでいない。今回はデータの不足部分も含めて現状を報告してほしい。その中で今後どう進めていくかの足掛かりになれば良いと考えている。他士会の動向やそれを踏まえてのビジョンも考えたい（秋山）

7. 各種委員の推薦依頼の確認（事務局）

- ・東海北陸学会座長 精神障害領域：岡庭理事，発達障害領域：伊井氏

- ・浜松市より介護認定審査会委員の推薦について（4名）

秋山，建木，小坂，小笠原紀子（新任）⇒ 承認

8. その他

1) 会員からの質問（勝又理事）

4点問い合わせあり審議依頼（「医師の指示のもと」以外での OT 名称の使用など）

⇒ 今後県士会としてこのような問い合わせがあった場合には理事メールで上げ回答を審議し返答

2) 精神 WG（大庭理事）

①第2回静岡県自立支援協議会地域移行部会研修ワーキング

今年度の研修会要綱・カリキュラムの確認について9月26日に開催（岡庭理事，大庭理事出席）

②平成28年度精神障害者地域移行定着推進研修（仮）

- ・開催日：平成29年1月23日（月）（静岡市 シズウェルにて）

- ・テーマ：退院が当たり前にできる地域を目指して

【各部報告】

1. 渉外部, 47 委員会 (秋山会長)

1) 10 月 13 日長寿政策課との意見交換会

- ・地域広域支援センターが地域包括ケアシステム構築に向けて取り組んでいるが、センターを支援する病院が機能していないため見直しも検討
 - ・今までは県から委託されており各センターの裁量で行っていたため統一性がなかったが今後は統一性をもたせたい狙いもある (大石)
 - ・地域支援事業ではリハ職の活用が法律に明記されているため、それぞれの施設が主体となり地域ケア会議等に出られえるようにしたい。リハ職の活用はまだ浸透していない (岩井)
 - ・県士会としては、各施設の事情により様々なケースが考えられるが、「推薦はするので職場の許可を得て自治体と契約し取り組んでもらう」という姿勢で共通認識を持つ (秋山)
 - ・地域への派遣業務は他業務就労となる。有休等での派遣業務は困難であり、会員個人は会社の規定を確認する必要がある。自治体から施設へもそういった案内があると良い (小笠原)
- ⇒ 2025 年には地域に OT が出ていられるようにしたい。今は PT の出番が多くても、隙間に OT が入り必要性を訴えていく。そのような姿勢で取り組んでいきたい (秋山)

2. 都道府県連絡協議会 (岡庭理事)

・東海北陸リーダー養成研修会 (12 月 3・4 日)

推薦者 (5 名) : 加納彰氏, 小泉直也氏, 久保寺圭佑氏, 生田純一氏, 山崎大輔氏, 明石幸子氏

3. 制度対策部 (梶原副会長) : 紙面報告

4. 調査部 (大庭理事)

- ・地域ケア会議に関する調査結果
- ・特別支援教育に関する調査案 (11 月中に実施予定)

5. 学術部 (三井副会長) : 特になし

6. 教育部 (稲葉理事)

1) MTDLP 関連

- ・生活行為の申し送り表による効果の調査依頼 → 協力施設を抽出
- ・当士会の現状 : 基礎研修終了 618 名 (目標 896 名)
実践者研修終了 44 名 (目標 448 名)
MTDLP 指導者 3 名 (目標 75 名)

2) 来年度オリエンテーション

- ・開催日 : 平成 29 年 4 月 23 日 (日)
- ・場 所 : あざれあ大会議室

7. 事業部 (建木理事) : 紙面報告

8. 地域活動推進部 (林理事)

1) 平成 28 年度祖茂半期活動方針

- ①組織化 (ネットワーク・情報共有) : メール網の作成, 会議や活動報告会開催
- ②人材確保 (人材バンク)
- ③人材育成 : 研修会開催, 活動に対するモニタリング

2) 活動報告

- ①伊豆市・伊豆の国市グループ活動 : 影絵遊び開催, 参加者 19 名 (保護者 9 名)
- ②地域ケア会議に資する人材育成研修会 : 9 月 18 日 (日) 静岡市で開催, 参加者 30 名

【地区活動報告】

○東部 (大庭理事)

1) ボッチャ大会 (あしたか杯)

- ・開催日 : 11 月 5 日 (土) (社会福祉法人あしたか太陽の丘 体育館にて開催)

2) 伊豆グループ活動

- ・ユニバーサルカヌー運動視察 (9 月 25 日実施) : 3 名参加
- ・発達障害支援活動 : 10 月 23 日予定

○中部 (大石理事)

- ・地域のカルチャースクールへの参画に向けて検討中
 - ・介護予防事業の人材派遣が可能かと問い合わせあり (事業の規模を模索中とのこと)
- ⇒ POS 協議会も設立されているため, 何かあれば県士会へ相談を。

○西部（稲葉理事）

- ・人材バンクを作りたい意向あり検討中
- ・生涯制度研修について問い合わせあり

9. 広報部（大石理事）

- 1) 会報誌：現在 124 号編集中（11 月中旬発刊予定）、125 号ではリオパラリンピックのポッチャコーチ内藤氏へインタビュー（特集）を実施予定。
- 2) 広報誌：まとめ作業中、最後のデジタル化まで手が回らない ⇒ 補正予算にて業者委託予定
- 3) ホームページ：業者選定中
⇒ 事前に資金調達が必要であればその都度補正として出す

10. 福利部（斎藤理事）

- 1) 第 5 回静岡 OT リーダー育成研修会
 - ・参加者：27 名（一般 15 名）
 - ・開催日：11 月 12・13 日（浜名湖弁天島ファミリーホテル開春楼）

11. 静岡県リハビリテーション専門職団体協議会

○地域包括ケアシステム・介護予防関連（林理事）

地域推進、介護予防研修会昨年同様に 4 回開催予定（11 月 26・27 日東部地区）

○災害対策委員会（村岡理事）：紙面報告

○訪問リハビリテーション連絡委員会（斎藤理事）

- ・訪問リハ実務者研修会 I・II の開催要項が決定した。
- ・運営や会計など役割分担している。足並みが揃うようにしていく。
- ・POS 協議会に県の基金の医療の部分について申請依頼があり訪問リハで申請している（秋山）

12. 事務局

1) 財務部：（小林理事）

- ・会計セミナー実務者編に参加して明確になることが多かった。1 月の財務諸表の研修には補正予算を組み秋山会長、両監事もご出席願いたい。⇒補正予算は承認。予定が合えば出席
- ・公益法人がかかわる法律は法人法・認定法・整備法があり色々なものが絡んでいるため複雑。
- ・補助金の考え方については、当該年度をまたぐか否かで処理方法が違う。
- ・当士会会計既定について：会計責任者を会計会議で決め、2 月の理事会に再度案提出

2) 庶務、その他

- ①事務局隣の部屋を借りての研修会開催のすすめ
使用料など調査（高岡氏）単発・年単位の比較
・当士会が賃借しており、それを有料で貸すことは公益法人として可能か。
法人管理の科目での収益事業（届け出上は「なし」としてある）という扱いについて
⇒ 県に確認する前に税理士に確認（小林理事）

②会費納入状況

未納者：平成 28 年度 142 名，平成 27 年度 20 名

③コピー機更新：新しくリース契約をすることで承認

3) 法人化推進委員会（勝又理事）

- ・監事変更手続きについて届け出完了

4) 表彰委員会（小坂委員）

- ・県士会表彰規定変更を検討：平成 29 年 4 月からの運用に向け準備中。次回理事会で改めて相談。

【次回】

第 5 回理事会日程（候補日）：12 月 3 日（土）拡大理事会（各部部長出席）

※終了後忘年会（一部県士会負担）開催予定

平成 28 年度理事会開催予定日および開催日

| | 開催日・候補日 | | 備考 | 主な行事 |
|-------|---------|-------------------|-------------|-----------------|
| 第 1 回 | 4 月 | 24 日（日） | 新人リエンテーション時 | |
| 第 2 回 | 6 月 | 11 日 | 部長会開催 | 6 月 18 日 PT 県学会 |
| 第 3 回 | 8 月 | 6 日 | 納涼会 | |
| 第 4 回 | 10 月 | 15 日 | | |
| 第 5 回 | 12 月 | 3 日 | 拡大理事会，忘年会 | |
| 第 6 回 | 2 月 | 4 日，18 日，25 日 | ヒヤリング | |
| 第 7 回 | 3 月 | 25 日（土）or 26 日（日） | 年度末の会計 | |

